

小田原市における市民活動支援施設の現状と今後について 「おだわら国際交流ラウンジ」

平成 25 年 8 月 15 日
第 2 回会議
資料 3-1

●施設の概要（所在地、設置目的、開設年月、規模・面積等）

所在地：小田原市栄町一丁目 15 番 19 号 栄町駐車場 3 階

設置目的：外国人との共生社会の実現を推進するため

開設年月：平成 10 年 12 月

規模：談話スペース、会議スペース 2 室（オープンスペース）

設備：パソコン（インターネット）、テレビ・ビデオ、新聞・雑誌、図書、各国語辞書

施設面積：147 m²（施設占用部分）



●運営体制の概要（運営体制、業務内容等）

運営体制：平成 10 年 12 月～ 公設公営（有償ボランティア又は臨時職員 1 名体制で運営）

業務内容：

- (1) 外国籍住民に対する情報提供
- (2) 国際交流活動等を行う個人及び団体への活動の場の提供

●実施事業（提供しているサービス、既存の実施事業等）

(1) 情報提供業務

外国籍住民のための相談窓口、国際交流団体等による講座、国際交流イベント等の情報を収集し、施設内に配架している。

また、外国籍住民支援のため、パソコン、テレビ、新聞、雑誌等を設置し、来館者の利用に供している。

(2) 施設提供業務（貸室）

国際交流活動等を行う個人及び団体に対し、外国籍住民への支援活動や交流活動の場として、施設を無料で提供している。

(3) 交流事業「ティーサロン」への協力

外国籍住民や国際交流団体がホスト（接待役）となり、海外生活体験、各国の文化紹介、国際協力活動等をテーマとした交流会や発表会を行うことにより、参加者間の相互理解と友好親善を深めることを目的として「ティーサロン」を開催している。開催に当たっては、会場としての施設提供のほか、広報面での協力を行っている。

【施設の活用例】



国際交流パーティー



海外ボランティア活動報告会

●施設の利用状況（開設時・直近2年）

年度	登録団体	年間のべ利用者数	1日の平均利用者数	備考
平成10年度	21	653	6	開設年度
平成23年度	33	7,865	21	
平成24年度	35	7,976	22	

※平成10年12月開設のため、平成10年度については平成10年12月から平成11年3月までの4か月間の実績。

●果たしてきた役割

- ・外国籍住民に対する情報提供及び支援
- ・国際交流団体への活動の場の提供
- ・国際交流活動の活性化及び推進

●評価

- ・予約管理をしている「会議スペース」については、稼働率は20～30%台で推移しているものの、国際交流団体を中心に安定した利用者数を保っている。施設利用者のうち、外国籍住民が占める割合は約15%であり、施設の設置目的に合致した運営が行われていると考えられる。
- ・登録団体（国際交流団体）については、語学教室等の定期的な活動のため特定の曜日・時間帯に利用する傾向がある。外国籍住民が所属している団体や継続的に参加している活動も相当数あり、国際交流の場としても機能していると評価できる。
- ・交流事業「ティーサロン」は、年平均10回程度の開催があり、国境を越えた市民交流の場、国際交流団体の活動発表の場として定着してきている。平成24年度の参加者数は延べ331名（一回あたり30名）。
- ・有償ボランティア又は臨時職員による1名体制で窓口業務を行っていることから、不測の事態への対応、設備・備品管理、情報機器の取扱い等についてのスキルアップが課題となっている。

●今後期待する事業展望

(1) 継続したいこと

- ・自治体における外国籍住民のための窓口機能
- ・外国籍住民のための情報収集及び提供
- ・設備・備品の貸出による外国籍住民支援
- ・国際交流団体への活動の場の提供
- ・外国籍住民が気軽に立ち寄れるラウンジスペースの提供
- ・交流事業「ティーサロン」の開催

※国際関係（外国籍住民及び国際交流団体）に特化したスペースは必ずしも要しない。

(2) 新たに実現したいこと

- ・国際交流イベント情報の一元管理
- ・国際交流団体情報の一元管理

※国際関係に特化せず、市民活動全般による管理としても可。

(3) 新施設の整備により期待すること

- ・国際交流団体とその他の市民活動団体との交流